

【1】明星大学とその魅力について

◇明星大学を知ったきっかけ

区分	内容
知人	本学に通う友人の紹介、予備校・高校の先生の勧め
インターネット	ベネッセマナビジョン
説明会	高校で開催された受験生向けガイダンス
雑誌	大学の情報サイトに登録してもらえる冊子、受験案内

◇学生生活について

・質問:「楽しい学生生活は送れていますか?」

・答え:「はい」7/7名

・理由

授業が楽しく、気さくで優しい男子学生が多いため。
学系内だけでなく、他学系や他学部とも交流があるため。

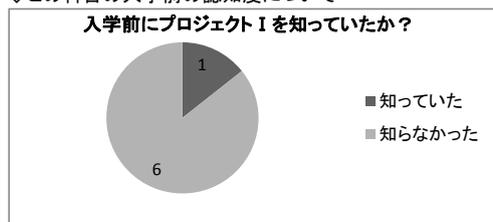
◇明星大学の良いところ

学系	カテゴリ	内容
理学系※1	設備	研究設備が整っていること
	授業	教員と学生の距離が近いこと
工学系※2	設備	他学部の学生と同じキャンパスで学べるところ
		駅から校舎までが近いところ
	実験施設や設備がきれいなところ	
	資格(2級建築士の受験資格等)が取得できること	
	学系の専門知識を学びながら、教員免許が取得できること	
学生生活	学系内にフレンドリーな学生が多いこと	
授業	「自立と体験1」でプレゼンテーションや話し合いの仕方などを学べるところ	

【2】授業について

【プロジェクト I】

◇この科目の入学前の認知度について



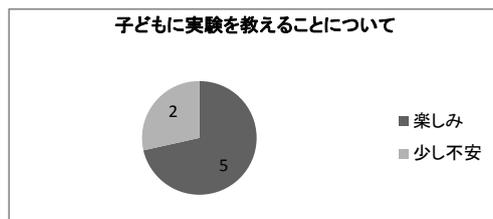
※「プロジェクト I」について:

本学理工学部1年生の必修科目。小中学生向け科学体験教室テーマを提示し、7月下旬に開催する「夏休み科学体験教室」の実施に向けて、グループによる企画立案、実験・試作、デイスカッション、プレゼンテーションする力を養う。成果発表として、「夏休み科学体験教室」において、小中学生へ指導する。

◇この科目の魅力を感じる部分

学系	内容
理学系※1	何度も試行錯誤しながら、楽しく実験ができること
工学系※2	先生やTA/SAとの距離が近く、実験方法などを丁寧に教えてもらえること
	実験をするだけでなく、夏休み科学体験教室当日の小中学生に向けて準備するところ

◇夏休み科学体験教室について



◇楽しみに思う理由
子どもと触れ合うのが好きだから。

◇不安に思う理由
子どもが飽きないように、実験を成功させることができるのか心配だから。

【理工実験実習 I】

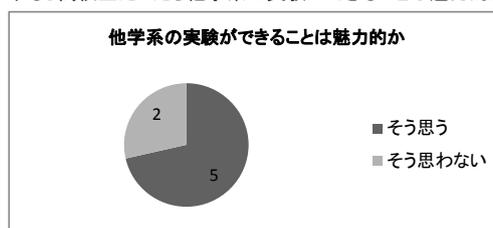
◇他学系の実験ができることについて

学系	内容
理学系※1	学系ごとに先生の個性が異なり、刺激になった
	専門でない機器を使った実験は難しかったが新鮮だった
工学系※2	幅広い実験を行うことで、新しい発見があることが興味深い

※理工実験実習 I について:

本学理工学部1年生の必修科目。6つの学系からなる総合理工学科の特徴を活かし、全ての学系領域をカバーする『実験実習』テーマを通して、学生自身が興味をもち、自ら考え実験する。また実験結果のレポートを作成する中で、論文の書き方や資料となる情報の収集方法について学ぶ。

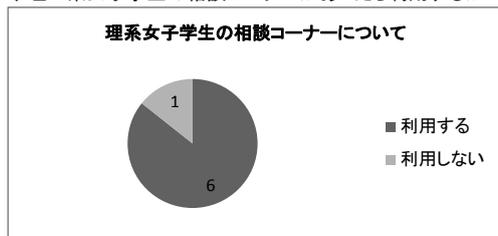
◇もし高校生だったら他学系の実験ができることは魅力的か



◇魅力的に思う理由
専門の内容だけでなく、専門外の実験を学ぶことができるため。

◇魅力的に思わない理由
楽しそうと思う反面、苦手な分野の実験もやらなければならないから。

◇理工系女子学生の相談コーナーがあったら利用するか



◇聞いてみたいこと
 女子学生同士で仲が良いか
 高校生のうちに準備しておいたほうが良いことについて
 大学独自のカリキュラムについて
 授業内容など、入学前の想像と異なる部分について

参加学生 1年生以下7名

NO	学系	氏名
1	物理学系	谷川 和美
2	生命科学・化学系	藤田 真利奈
3	機械工学系	上原 清美
4	機械工学系	菅井 美柚
5	建築学系	池内 かおり
6	建築学系	鶴巻 玲奈
7	環境科学系	田中 優里

※1 理工系:物理学系、生命科学・化学系、環境科学系

※2 工学系:機械工学系、建築学系